

水木十五堂賞 授賞式

第7回受賞者が 保山 耕一さんに決まりました

保山 耕一さん(写真)は、「奈良には365の季節がある」をテーマに、全身全霊をかけて大和の風景と時の移ろいを映像叙事詩として蒐集するとともに、その映像を様々な手法で広く紹介し、それらの作品は映像作家として高い評価を受けています。



◆申 込

12月5日(水)から、郵便番号・住所・名前・電話番号・参加人数(3人まで)を、電話・FAX・メールで下記事務局へ。または市ホームページから。※申込者には後日、参加券を郵送します。

◆申込先・問合せ

水木十五堂賞運営協議会事務局 (市役所企画政策課内)

(☎ 53-1160・FAX 53-1049・✉ mizuki@city.yamatokoriyama.lg.jp)
<https://www.city.yamatokoriyama.nara.jp/>

授賞式・記念講演を 開催します

参加無料
要申込

◆日 時 平成31年1月26日(土)
13時30分～

◆場 所 DMG MORI やまと郡山城ホール

- ・授賞式(賞状・記念品・副賞の授与)
- ・受賞記念講演(保山 耕一さん)
- ・記念座談会(予定)
 - 保山 耕一(第7回水木十五堂賞受賞者)
 - 神崎 宣武(旅の文化研究所長)
 - 岡本 彰夫(奈良県立大学客員教授)
 - 柳澤 保徳(帝塚山大学特別客員教授)
 - 上田 清(大和郡山市長)

水木十五堂(要太郎)とは…

大和郡山市の偉大な先人水木十五堂は、40数年にわたり豆腐町に居を構え、奈良県尋常中学校(現郡山高校)教諭、奈良女子高等師範学校(現奈良女子大学)の教授などを務める傍ら、大和の歴史や地誌の研究を進め、漢詩・和歌・俳句・茶道・演劇等を通じ、多くの文人や芸術家と交流し、幅広い分野で蒐集。いつしか「大和の水木か、水木の大和か」と呼ばれ、大和を代表する研究者、文人としての地位を確立。1938年逝去、享年74。



水木 要太郎
(1865～1938)
「収集家100年の軌跡
ー水木コレクションのすべて」
(国立歴史民俗博物館展示図録)より



市内保育園・認定こども園の臨時職員 (保育士・保育教諭) 募集！

日時＝12月15日(土)・16日(日) 10時～16時30分

場所＝イオンモール大和郡山(下三橋町)

※『保育士資格や幼稚園免許をお持ちの人、取得見込みの人』が対象です。(申し込み・予約等は不要)

※子どもが楽しめる紙芝居や絵本の読み聞かせなどの催しもあります。

問合せ＝こども福祉課 保育係(窓口119番/内線523)



親子わいわいコンサート (ちょっと早いクリスマスコンサート)

赤ちゃんからお年寄りまで全ての人を対象としたコンサート。みなさんがよく知るクリスマスソング、ポップス、クラシック、アニメソング等をオカリナとサクソの音色でお楽しみください！(参加無料・申込不要)

日時＝12月15日(土) 14時～(開場13時30分～)

場所＝平和地区公民館 多目的ホール 対象・定員＝一般市民、250人

問合せ＝平和地区公民館(☎ 52-2346)(水・土・日曜と祝日を除く9時～17時)